

腹腔鏡補助下結腸切除術を受けられる 様へ

* 腸の腫瘍に対して全身麻酔で腸の切除を行います。

	手術2日前	手術前日	手術当日の手術まで	手術当日の手術後	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目
月日	/	/	/	/	/	/	/
目標	安全に手術ができますよう手術の準備をしていきます					腹部状態に問題がなければ水分が始まります	
検査治療			<ul style="list-style-type: none"> 手術の入室予定時間は 時 分です 午後からの手術の場合、午前中に点滴があります 	<ul style="list-style-type: none"> 点滴があります 	<ul style="list-style-type: none"> 点滴があります 採血があります 		
処置	<ul style="list-style-type: none"> 術後合併症を予防するために、歯科受診をしていただきます 寝る前に、下剤を4錠内服してください 	<ul style="list-style-type: none"> 臍処置をします 麻酔科医の診察があります(ただし、休日の場合は別の日に診察します) 午後3時に下剤を2リットル飲んでください 眠れなければ睡眠薬があります 	<ul style="list-style-type: none"> 手術前に弾性ストッキングをはきます 手術室で、麻酔のためのチューブを背中にいれます(硬膜外麻酔) 	<ul style="list-style-type: none"> 硬膜外麻酔チューブから痛み止めの薬が持続的に入ります 痛みが強ければ我慢せずに教えてください。痛み止めの坐薬を入れるか注射をします お腹に管が入ってきます(引っ張られないように注意してください) 肺塞栓を予防するための器械を足につけます ガーゼが汚れている場合、ガーゼを交換します 	<ul style="list-style-type: none"> 鼻の管(胃管)が入っていれば、回診時に、腹部の状態を診て抜きます(通常は、手術中に抜くことが多いです) ガーゼ交換は回診時と汚れている時にします 	<ul style="list-style-type: none"> (術後2~4日目に) 歯科受診があります 毎日午前中に医師の回診があります 必要時、ガーゼを交換します 	
食事	<ul style="list-style-type: none"> 腸にかすの残りにくい食事ができます 病院食以外は食べないでください 	<ul style="list-style-type: none"> 昼食まで食事が出来ます。以後絶食です 麻酔科医師から飲水の指示があります 飲水()まで出来ます 				<ul style="list-style-type: none"> 腹部の状態を診て水分の許可が出来ます 重湯が出来ます 	
排泄			<ul style="list-style-type: none"> 手術時間が近くなったらトイレに行っておいてください 	<ul style="list-style-type: none"> 手術中に尿の管が入ります。引っ張らないでください 		<ul style="list-style-type: none"> 立ってトイレに行ければ尿の管を抜きます 食事が始まるまで尿をためてください 	
安静	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません 	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません 		<ul style="list-style-type: none"> 身体力を抜いて楽な姿勢をとります(横を向いたりベッドを起こしてもいいので、看護師に言ってください) 	<ul style="list-style-type: none"> 痛みの状態をみながら歩く練習をします 		
清潔		<ul style="list-style-type: none"> 臍処理をしてから入浴します 	<ul style="list-style-type: none"> 手術に行く前にうがいをしてください 	<ul style="list-style-type: none"> うがいしたい時は看護師に言ってください 	<ul style="list-style-type: none"> 蒸しタオルで身体を拭きます 		
呼吸	<ul style="list-style-type: none"> 禁煙をしてください 深呼吸の練習をします 			<ul style="list-style-type: none"> 全身麻酔の影響で気道の分泌物が増えます 痰は出すようにしてください 自分で出せない場合は吸引をするか、痰を出しやすくする薬の吸入をします 酸素吸入をします、看護師がマスクを取り外すまで外さないでください なるべく深呼吸をしてください 			
検温	<ul style="list-style-type: none"> 入院時にします 	<ul style="list-style-type: none"> 昼にします 	<ul style="list-style-type: none"> 朝と手術室に行く前にします 	<ul style="list-style-type: none"> 頻回に血圧、熱の測定をします 	<ul style="list-style-type: none"> 朝、昼、夜に測定します 		
その他	<ul style="list-style-type: none"> 手術までに手術・麻酔・検査同意書を看護師に提出してください 手術や手術前の準備についての説明をします 薬剤師が薬について説明します 				<ul style="list-style-type: none"> 必要時、リハビリで動く練習をします 		
説明者							

※状態に応じて予定が変わることもあります。何か質問があれば看護師にお聞きください。

主治医() 担当看護師()

入院負担割合	3割	70歳以上(1割)	70歳以上(2割)	70歳以上(3割)
負担額	約400,000円	約90,000円	約90,000円	約400,000円

* 入院費は概算ですので診療内容・病状・予定の入院日数を超える等により異なる場合があります。2020.4.23☆

	手術後4日目	手術後5日目	手術後6日目	手術後7日目	手術後8～9日目	手術後10～11日目	手術後12日目
月日	/	/	/	/	/	/ ~ /	/
目標	創の治りが良好である			排便コントロールができています		排便コントロールが出来ていれば退院になります	
検査 治療	<ul style="list-style-type: none"> ・内服がでます ・毎日点滴があります 			<ul style="list-style-type: none"> ・採血があります 			
処置	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日回診があります ・硬膜外麻酔がなくなればチューブを抜きます ・回診時、状態を診て、お腹の管を抜きます 						
食事	・3分粥がでます	・5分粥がでます	・7分粥がでます	・全粥がでます	・普通食がでます		
排泄	<ul style="list-style-type: none"> ・薬で排便のコントロールをしていきます 						
安静	<ul style="list-style-type: none"> ・制限はありません 						
清潔	<ul style="list-style-type: none"> ・洗髪をします 	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸しタオルで身体を拭きます 	<ul style="list-style-type: none"> ・管が抜けた翌日、医師の回診で許可があればシャワーに入ることができます 				
検温	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日朝・昼・夜に検温があります 						
その他						<ul style="list-style-type: none"> ・薬剤師が薬について説明します ・看護師が退院後の生活について説明します ・退院療養計画書をお渡ししますので、署名の上お出してください 	
説明者							

※次回の外来受診日は 月 日 時です。外科外来にお越しください。
 ※体調が悪ければ、受診日を待たずにいつでもお越しください。